

Title	表紙・目次 (泌尿器科紀要 第29巻第4号) 第6回関西ストーマ研究会ご案内 編集後記・購読要項・投稿規定
Author(s)	
Citation	泌尿器科紀要 (1983), 29(4): 477-478
Issue Date	1983-04
URL	http://hdl.handle.net/2433/120144
Right	
Type	Others
Textversion	publisher

泌尿紀要
Acta Urol. Jpn.

Vol. 29, No. 4 ACTA UROLOGICA JAPONICA April 1983

泌尿器科紀要

第29巻 第4号 1983年4月



ヒト陰茎扁平上皮癌培養細胞株 TSUS-1 の樹立とその性状 (英文)...	石川 悟・ほか	373
精索静脈瘤の臨床的研究:(1)精液所見と睪丸所見について.....	高崎 登・ほか	377
Microsurgical two-layer vasovasostomy の経験.....	平尾 佳彦・ほか	385
排尿後尿洩れ (Postmicturition dribble) の研究.....	古屋 聖児・横山 英二	395
尿路 Serratia 感染症の統計的観察.....	上領 頼啓・酒徳治三郎	401
泌尿器科診療におけるコンピューター利用に関する研究		
第3報:透析室における透析業務および診療補助システム.....	今川 章夫・詫間 幸広	411
腎血管筋脂肪腫の2例.....	西野 昭夫・ほか	417
腎平滑筋肉腫と陰茎癌の重複症例.....	小田島邦男・ほか	425
膀胱原発 paraganglioma の1例.....	出口 隆・ほか	433
腹側不完全重複尿道の1例.....	藤島 幹彦・ほか	441
陰囊内の血管腫・リンパ管腫混合型の1例.....	伊藤 康久・ほか	447
真性半陰陽の1例.....	布施 秀樹・ほか	451
Cefmetazole の泌尿器科領域における使用経験.....	淡河 洋一・ほか	459
Piperacillin の泌尿器科領域における臨床的検討.....	林田 重昭・ほか	465

禁 帯 出
到着後 1ヶ月間

Editor: Prof. Osamu YOSHIDA, M.D.
Department of Urology, Faculty of Medicine,
Kyoto University, Kyoto Japan 606
京都大学医学部泌尿器科学教室

第6回 関西ストーマ研究会ご案内

謹 啓

春暖の候 皆様方におかれましてはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、標記研究会を下記要領にて開催します。御多忙とは存じますが、医師、看護婦お互いに誘い合わせて御出席下さい。今回は広く一般から演題を募集しますので、奮って御応募下さい。

日 時：昭和58年6月4日（土）午後2時～5時

場 所：大阪市立大学医学部基礎大講堂

大阪市阿倍野区旭町 1-5-7

国電または地下鉄「天王寺」下車，南（アポロビル側）へ歩いて5分

世話人および総合司会：前川正信 教授

主題1：尿路変更と人工肛門を併設した患者のストーマ管理 司会：奥野匡宥（外科）

A) 社会復帰のための術式上の工夫

B) 装具と管理法

主題2：排尿障害患者社会復帰への努力

司会：岸本武則（泌）

A) 骨盤内手術後の神経因性膀胱の医療または看護

B) 尿失禁の医療または看護

それぞれのテーマについて皆様はどのように対処しておられるでしょうか。具体的な治療法，工夫，患者指導要領，看護法，看護基準，模範的な患者の紹介，患者自身が考案した方法，患者指導の失敗と反省など日常しておられることや考えておられることをおもし頂けませんか。是非，外科の方々の御努力もおきかせ下さい。

応募要領：形式自由で字数制限はありませんが，発表内容の要旨と題名，発表者名と連絡先（電話番号）を書いて下記事務局へ5月6日までにお送り下さい。

5月10日頃応募者に採否を連絡します。

プログラムは研究会当日掲示します。主題に基いた自由討論を歓迎します。

以上ご案内申し上げます。6月4日にお会いできますことを楽しみにしてお待ちしています。

昭和58年3月23日

敬 具

当番：大阪市立大学泌尿器科

世話係 西尾正一，川村正喜

事務局：〒553 大阪市福島区福島 1-1-50

阪大第2外科内 関西ストーマ研究会事務局

（電話 06-451-0051 内線 2279）

編集後記

考えること、いうこと、することの3つが一致しないと、尊敬が得られないという。
私の手元に7冊の古い大学ノートがある。平沢 興名誉教授の神経学の講義録である。講義を一
言半辞も漏らさずに、ノートに書き取って、下宿で清書したものである。もちろん、色鉛筆で書い
たジュマもすべて入っている。今、手元に残っている唯一の講義録である。これを大切に持って
いるのは、教授の名声、講義の内容、ノートを作るのに費やした時間や労力を考えてのことではない。
真摯な人柄と誠実に寄せる敬愛の情である。考えていること、いっていること、していること
の3つが1つになった授業、そんな印象を強く受けた。自分が書いたノートだけれど、それを手
にすると、学問の、研究の、教育の薫りが、そうして、学生時代の心の高ぶりが、今でも伝わっ
てくる。大学の教育とは、そういうものだと思っている。それを目指して努力してきたつもりだけれ
ど、まったく忸怩たる思いである。

顧みて、京大の現在の教育制度は、なるほど、画期的な企てかもしれないが、心の繋がりのない
知識の切り売りで、寂しい。
(T. K.)

購読要項 (1983年1月改定)

1. 発行は毎月、年12回とし、年間購読者を会員とする。
2. 会員は年間予約購読料6,000円(送料とも)を前納する。払込みは振替に限る。口座番号 京都5-4772 番 泌尿器科紀要編集部宛。
3. 入会は氏名、住所を記入のうえ編集部あて、はがきにて申し込みば所定の用紙を送付します。

投稿規定 (1982年6月改定)

1. 投稿：連名者を含めて会員に限る。
2. 原稿：泌尿器科学領域の全般にわたり、総説、原著、症例報告、そのほかで和文または英文とする。
 - (1) 長さは制限しないが簡潔にする。
 - (2) 和文原稿はB5版400字詰原稿用紙横書き、楷書、当用漢字、現代かなづかい、平がなとし、清書する。文中欧語の固有名詞は大文字で、普通名詞は小文字で始め、タイプし、年号は西暦とする。
 - (イ) 原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名の順に和文、英文で併記する。下段に筆頭著者名(山田：または山田・ほか：)と、2語(例：前立腺がん・PSAP)からなる running title および5語(英文)以内の key words を付す。
 - (ロ) 英文抄録：ダブルスペースでタイプし、その和訳をつける。
 - (3) 英文原稿はダブルスペースでタイプし、原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名、key words (和文に準ず)、running title (和文に準ず)の順にタイプし、別に標題、著者名、所属機関名、抄録の順に記した和文抄録を付す。
 - (4) 数字はすべて算用数字を使用し、単位 m, cm, mm, l, ml, kg, g, mg, μ g, %, °C, pH などとする。
 - (5) 図、表、写真などはすべて別紙とし、写真はト

リミングする。説明文は一括して記載し和文、英文を問わず Table 1., Fig. 2. などとする。英文が望ましい。原稿右欄外に挿入さるべき位置を明示する。とくに図・表は必ずタイプまたは楷書で清書し、誤りのないことを確認する。様式については本誌の図・表を参照する。

- (6) 引用文献は必要最小限にとどめ、引用箇所を本文中に入れる。和文は楷書で、欧文はタイプする(例：山田^{1,3,7)}, 田中ら^{1,3-10)}によると)

雑誌の場合—著者名(全員)：題名。雑誌名
巻：最初頁～最終頁、発行年

単行本の場合—著者名(全員)：題名、書名、編集者名、版数、巻数、引用頁、発行所、出版地、発行年

- (7) 原稿を返却しないのでコピーを手元に残しオリジナルを書留で〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京大病院泌尿器科紀要編集部宛送付する。
- (8) 校正は初校を著者による責任校正とし、再校以降は編集部がおこなう。著者複数の場合校正責任者を投稿時指定する。
- (9) 編集部は原稿の訂正、書き直しまたは返却を指定する権限を保持する。

3. 掲載

- (1) 論文の掲載は採用順とする。迅速掲載には迅速掲載料を要する。
- (2) 紙代、印刷費および最初1頁の組版費は編集部で負担する。残額を実費負担とし、請求は論文掲載誌発行後におこなう。
- (3) 薬剤の効果、測定試薬の成績、治療器具の使用などにかんする研究論文については、掲載料を別途に申し受ける。

4. 別刷

実費負担とし、著者校正時に部数を指定する。

編集委員： 石神 襄次 前川 正信 宮崎 重 新谷 浩
 園田 孝夫 友吉 唯夫 吉田 修(主 幹)

泌尿器科紀要 第29巻 第4号 1983年4月25日 印刷 1983年4月30日 発行
発行 吉田 修 顧問 加藤 篤二 発行所 泌尿器科紀要刊行会
〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京都大学医学部泌尿器科学教室内 電話(075)751-3327(直通)
印刷所 山代印刷株式会社 京都市上京区寺之内通小川西入